

函 福 包

令和 8 年（2026年） 6 月 5 日

報道機関各位

保健福祉部地域包括ケア推進課長

「令和 8 年度 3 市町合同住民公開講座 映画『ピア』を観て
みんなで語ろう！」の事前周知に係る報道依頼について

このことについて、下記のとおり住民公開講座を開催いたしますので、事前周知に係る報道方よろしく申し上げます。

記

- 1 日 時：令和 8 年 7 月 4 日（土）
1 3 時 3 0 分～1 6 時 3 0 分（開場 1 2 時 3 0 分）
- 2 会 場：北斗市総合文化センター かなで～る
- 3 対 象 者：函館市・北斗市・七飯町の住民
- 4 内 容：映画『ピア』の上映およびゲスト講師とのトークセッション
- 5 定 員：2 5 0 名
- 6 参 加 料：無料
- 7 申込方法：詳細につきましては、別添チラシおよび下記ホームページをご参照ください。
- 8 ホームページ：[【令和8年7月4日開催】令和 8 年度 3 市町合同住民公開講座 映画『ピア～まちをつなぐもの～』を観てみんなで語ろう！ | 函館市医療・介護連携支援センター](#)
- 9 問い合わせ先：函館市医療・介護連携支援センター
函館市富岡町 3 丁目 1 番 1 4 号
電話 4 3 - 3 9 3 9

（保健福祉部地域包括ケア推進課 2 1 - 3 0 4 2）

多数のご参加を
お待ちしております！

上映会 & トークセッション

日時：令和 8 年 7 月 4 日 (土)
13:30~16:30

(開場 12:30~)

会場：北斗市総合文化センター
かなで〜る

入場料：無料

*詳細は裏面をご覧ください

最期の願いは、
僕たちが支える。

ピア

まちを
つなぐもの

Peer

細田善彦

松本若菜 川床明日香 竹井亮介 三津谷亮 金子なな子
田山由起 桜まゆみ 枝元 萌 村上和成 中野マサアキ 大迫一平 加藤虎ノ介
戸塚純貴 尾美としのり 水野真紀 升 毅

監督：綾部真弥 企画・原作・プロデュース：山国秀幸
脚本：藤村磨実也・山国秀幸 主題歌：橋 和徳「この街で」(ユニバーサル ミュージック)
撮影：伊藤麻樹 照明：尾下栄治 録音：滝澤 修 美術：横守 剛 編集：岩切裕一 音楽：遠藤浩二
製作：映画「ピア」製作委員会(ワンダーラボラトリー/アイ・ビー・アイ/ユナイテッドエンタテインメント)/[映画]日本コミュニケーションズ/エイコムプラス
配給：ユナイテッドエンタテインメント 制作：U.E. 協力プロダクション：スタジオブルー
2019年/日本/カラー/5.1ch/99分 ©2019映画「ピア」製作委員会
www.peer-movie.com

特別ゲスト
北原佐和子さん



1980年代「花の82年組」としてご活躍
現在は俳優業と並行して現役の介護支援専門員
として現場に立ち続ける“介護のスペシャリスト”
自身の経験をもとに「命の大切さ」を伝える講演
活動を全国で行っている



在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間たち——命と希望の物語



推薦：厚生労働省 特別協力：日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/日本看護協会/日本在宅ケアアライアンス/全国在宅医療医歯薬連合会/日本介護支援専門員協会
特別協賛：医療法人社団清風会 平野医院/日本介護クラフトユニオン/グッドライフケア/在宅支援総合ケアサービス/ソラスト/カナミックネットワーク/介護のツクイ
学校法人 兵庫医科大学/ミアヘルサ/レパレージュズメディカルケア/メディカル・コンシェルジュ

令和8年度 3市町合同住民公開講座 映画『ピア』を観てみんなで語ろう！

日時：令和8年7月4日(土) 13:30~16:30 (開場 12:30~)

会場：北斗市総合文化センターかなで〜る

入場料：無料

参加対象：函館市，北斗市，七飯町の住民

定員：250名

締め切り：令和8年6月29日(月)

内容：13:30~ 開会

・映画上映『ピア〜まちをつなぐもの〜』(99分)

・トークセッション

ゲスト講師：北原 佐和子さん(俳優・ケアマネジャー)

座長：岡田 晋吾 先生(北美原クリニック)

*無料駐車場約350台完備&駅徒歩1分，いさりび鉄道の利用も便利！

*定員を超える申し込みの際は，早めに締め切らせていただくことがあります。
お早めにお申し込みください。

【申し込み】 スマホ派 → 申込フォームを読み取ってアクセス
PC&スマホ派 → <https://x.gd/7j1Z1> にアクセス

*函館市医療・介護連携支援センターHPの本講座ページからも簡単に申し込みできます。



【申込フォーム】



映画

『ピア〜まちをつなぐもの〜』

【STORY】

「最期の願いは、この場所で、僕たちが支える」

病気で倒れた父親の医院を継ぐために、大学病院を辞めざるを得なくなった若手医師の高橋雅人は父の要望で渋々訪問診療も始めることになる。しかし大学で先端医療の研究を志していた雅人にとって、地域の患者やその家族たちの医療には、なかなか関心を持ってないでいた。それに加えて医師としてのプライドもありケアマネジャー(佐藤夏海)や介護福祉士など他の職種との連携も積極的にとらず、やがて地域医療の中で孤立していくようになる。そんな中、訪問診療に行ったある患者家族との出会いによって、雅人の医師としての考え方が大きく変わっていくことになるのだった……。



◀主催▶ 函館市医療・介護連携支援センター ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

◀共催▶ 函館市 北斗市 七飯町

◀問い合わせ▶ 函館市医療・介護連携支援センター 0138-43-3939

ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター 0138-42-1232